

沃野乃学会

No I 2

令和5年6月27日(火) 発行:校長 鈴木 純子

白河市互五箇小学校 学校だより

~ グリーンカーボン肥料の取り組み ~

5月にお知らせしました五箇小学校と市内企業 E プラスさんとの取り組み、グリーンカーボン肥料が出来上がりました。

5月に二酸化炭素を吸収する「DAC(ダック)システム装置」を各教室に設置しました。 1ヶ月たち、6月はじめに DAC システム装置を E プラスさんが回収にいらっしゃいました。各教室で吸収された二酸化炭素は、500mlペットボトルで約324本分だったそうです。その後、二酸化炭素を吸収した DAC システム内の粉を肥料として使えるよう改良していただきました。できた肥料は全部で7袋(1袋20kg)です。その肥料を校舎前の学校花壇に撒き、花を植えました。大きく、元気に育つといいですね。

蛇足になりますが、DAC システムと同じシステムを搭載した自動販売機が登場したそうです。その 名も「二酸化炭素を食べる自動販売機」だそうです。







~ 音楽のアウトリーチプレゼント ~

今年度も NHK 交響楽団の方々3名による「音楽のアウトリーチプレゼント」を実施しました。今年で3度目となります。バイオリン、ビオラ、チェロの弦楽器による演奏です。生で聴く楽器の音色は心地よく、楽しい時間を過ごすことができました。「間近でこんなに素晴らしい演奏を聴くことができて、嬉しかったです。」とお礼の言葉を述べるなど、子ども達にとって貴重な体験となりました。

